

メッセージアウトライン ヨハネ19：38~42 「引き寄せるお方」

イエスが十字架で死なれて後、アリマタヤのヨセフという人物がイエスのからだを取りかたづけたいと、ローマ総督ピラトに願い出た。彼はイエスの弟子ではあったが、ユダヤ人を恐れてそのことを隠していたのである。(38) 彼はユダヤ人の最高議会サンヘドリンのメンバーであったがイエス殺害計画には賛成していなかった。→ ㊦23:50~51 さらに彼は金持ちであった。→ マ127:57

マルコ15:43には彼は「思い切ってピラトのところに行き」と書かれている。隠れ信仰者であった彼が、今思い切った行動に出ている。ひとつ間違えば自分の身がどうなるかわからないような状況の中で、彼は完全に自分がイエス・キリストの側の者であることを鮮明にしたのである。彼をこのように思い切った行動に移させたものは何か。それはイエスの十字架、イエスの死であった。しかし、それは単なる同情心ではない。

もうひとりの人物が登場してきた。ニコデモである。(39) 彼は、「前に、夜イエスのところに来た」→ ㊦3:1~15 彼はユダヤ人の指導者であり、ユダヤ人を教える教師であり、サンヘドリン議会の有力なメンバーであった。彼はその立場上、人目をはばかって夜にイエスのもとに尋ねて行ったのである。彼はイエスを神から来た者であると認めていた。そしてイエスとの対話によってイエスを信じる信仰を持ったものと思われる。彼は㊦7:50以下で登場してきてイエスを弁護しようとしている。しかし、自分の立場が危うくなると沈黙してしまうのであった。しかし今、ニコデモは沈黙を破ってイエスのもとに近づいてきた。彼は没薬とアロエを混ぜ合わせたものをおよそ30キログラムばかりもってやって来た。「没薬」→ イエスご降誕の時に東の博士たちが宝として黄金、乳香、没薬をささげた。それほど没薬は高価なものであり、香料、防腐剤、薬としての役割を果たすものであった。「アロエ」→ これは今日のサボテンのようなものではなく、じんちょうげ科の植物から取れる非常によい匂いの香料であると考えられる。ニコデモが持ってきたものは今日で言えば何百万円もの価値があるかもしれない。このようにして彼もイエスにつく者だという旗幟を鮮明にした。

アリマタヤのヨセフとニコデモはなぜこのように思い切った行動に出ることができたのか。そのヒントが㊦12:32~33である。→ 「わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。……」イエスが十字架に上げられ、人間を罪より贖うため死なれる時、それまで不信仰やどっちつかずの信仰であった人々を引き寄せるようになる。まさにそれがアリマタヤのヨセフやニコデモにおいても実現しつつあると考えられる。この世を支配する悪魔の力はイエスの十字架によって打ち破られ、すべての人がこの十字架のもとに引き寄せられ、十字架のイエスを仰ぐだけ、このお方を自分の罪の救い主だと信じるだけで救われる。そのような道が開かれ、また大胆に信仰を告白し、キリストの側につく者として生きる者となる。そのことがまさにイエスの死において始まっているのである。イエスは今、すべての人をご自分のもとへ引き寄せておられる。私たちも勇気を出してイエスのもとへ行き、信仰の歩みを進めていこう。